

調査研究推進委員会 調査研究推進セミナー
「地域社会における調査研究をどのように行うか—2023年度『日本語教育』
論文賞受賞論文執筆者に聞く、研究計画のヒントー」

開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会調査研究推進委員会

日時：2025年11月23日（日）12:10～12:50

場所：富山国際会議場（富山市大手町1番2号）

参加者：46名

調査研究推進セミナーは、日本語教育における調査研究活動の推進と研究倫理の質の向上を目的としています。この度のセミナーは、地域社会における調査研究の構想や方法のヒント、調査を行う上での倫理的な配慮等について学び、今後の調査研究活動に活かすこと目的に企画されました。セミナー当日は、50名近くの方にご参加いただきました。

セミナーでは、2023年度『日本語教育』論文賞受賞論文の共同執筆者である山本晋也先生（周南公立大学 総合教育部 准教授）を講師に迎え、受賞論文「外国人散住地域における外国人住民対応ローカル・ガバナンス構造の検討—ライフキャリア形成を支える地域日本語教育の視点から—」を切り口に、地域社会の現状を踏まえた問題意識を研究計画に結び付けていったプロセスやフィールド調査の手法を用いたデータ収集における工夫や苦労、難しさ、研究倫理への配慮等、地域社会における調査研究のあり方についてご講演いただきました。

また、受賞論文の具体的な事例をもとに、調査研究を計画した際の意図や、その際に心がけたこと、困難点とそれを乗り越えるための工夫等とともに、社会的な文脈の中で日本語教育を捉え、調査研究を行う上では、「社会」と関わる実践者自身のあり方が問われていること、つまり、「どのような社会を目指すのか」「どのような日本語教育実践を目指すのか」という明確なビジョンを持つことの重要性をお話しいただきました。参加者の方々にとって、具体的な調査方法のヒントのみならず、地域社会において調査研究を行う上での実践者のあり方について考える貴重な機会となりました。さらに、フロアとの質疑応答も活発に行われました。

これから地域での調査研究を進めようと考えている方、これまで地域での調査研究を続けてこられた方等、参加者の方々にとって多くの学びと気づきが与えられ、たいへん充実した中身の濃い時間となりました。

（文責：調査研究推進委員会）